

日本の「領土・主権」を考える

北方領土・竹島・尖閣諸島パネル展

地図と測量による領土の明示パネル展

北方四島

北方四島には約17,000人の日本人が暮らしていました。



歯舞群島 多楽小学校の大運動会(1937年) 提供:千島歯舞諸島居住者連盟

竹島

竹島ではアシカの捕獲やアワビなどの採取を行っていました。



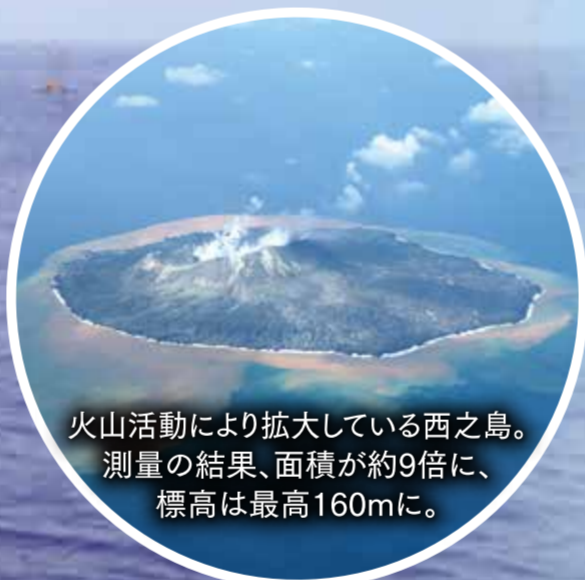
竹島で猟をする人たち(1934年) 提供:鳥根県竹島資料室 撮影:大阪朝日新聞社

尖閣諸島

尖閣諸島では200人以上の日本人がカツオ節などを作って生活していました。



尖閣諸島魚釣島(1908年頃) 提供:那覇市歴史博物館



火山活動により拡大している西之島。測量の結果、面積が約9倍に、標高は最高160mに。



国土の正確な位置を示す国家基準点(三角点)。写真は長崎県に設置した三等三角点「肥前島島南小島」。



空中写真を撮影し地図を作成しています。尖閣諸島魚釣島(地理院地図)。

2023年

10.24 火 - 12.17 日 月曜休館 9:30~16:30

入場無料



地図と測量の科学館 MUSEUM/index.html

国土地理院 地図と測量の科学館 2階「特別展示室」

[共催] 内閣官房 領土・主権対策企画調整室 / 国土交通省 国土地理院

